



令和5年7月14日(金)

# 進路だより 第4号

陽東中学校 進路指導部

まもなく夏休みが始まります。三者懇談も予定されていますので、特に3年生は進路を視野に入れて臨んでください。県立高等学校・私立高等学校の一日体験では進学相談をしてくれる学校もありますので、HPを確認の上参加してください。1・2年生にもclassroomを作り、発信していますので確認してください。

なお県立高等学校の一日体験学習は、欠席の場合は学校から連絡をすることになっています。部活動などの大会が入ってしまった場合は事前にお申し出ください。また当日急な体調の変化の場合はわかり次第中学校に必ず連絡してください。(詳しくは3年生の県立高等学校一日体験学習事前指導があります)

## 三者懇談について

- ・1、2年生は自分の学校生活、学習についてふりかえろう。
- ・3年生は自分の意思を明確にし、自分の状況と照らし合わせながら、保護者の人と共有しよう。



どんな場合でも意志と学習状況を保護者と共有しよう。成績も大切。でも得意・不得意、自分の個性を生かすことを優先しよう。

## ○三者懇談におけるQ&A

### 1 入試の対策

傾向を知るために過去問を解いてみよう。私立高によってはHPに載っています。

### 2 自分の目指す高校の合格状況と合格ライン

入学後、「思っていたのと違う」など中途退学する生徒もおります。昨年度の高家中退者は栃木県で297人という深刻な事態です。せっかく合格したのに辞めてしまうという事態にならないためにも、目指す学校への理解を深めてから受験してほしいと思います。学級担任のアドバイスをきちんと聞きましよう。

## 拝啓十五の君へ その2

### 3年副主任 1組担任 櫻井 裕一

受験生当時の僕は1人で勉強すると集中力が長続きする方ではなかったので、休日は県立や市立図書館に行って勉強していました。いや、自分で言うのもなんですが、休日は頑張っていたと思いますよ、ほんと。昼ごはんは近くのおいしい食堂で、というのも楽しみでしたが、しかし、そのリバウンドが平日に出るので、部活で疲れたとか、眠いとか言い訳をしながらグダグダになる日が続くわけです。かといって机に向かうと問題を集中して解いているはずがいつの間にか本にすり替わったり…。こんな感じだったので、平日は1教科15分×4で1時間勉強し、15分休憩という形で勉強することが多かったです。簡単に言えば、分からない1問を分かるようにする15分間を4回繰り返す勉強法でした。勉強時間が安定しなかったせいもありますが、テストの結果が振るわなく、志望校についても揺らぐ時期もありました。そこでこのままではまずいと思い、自分なりのルール(受験まで自分の趣味を一つ絶つこと)を作り、勉強しました。辛かったですが、受験後の楽しみが倍増するであろうと思い、その趣味に割いていた時間を学習時間に回したのを覚えています。今考えればこのルールはなくてもよかったのかもと思いますが、当時はそれぐらいしないと合格できない、という、半ば覚悟のような気持ちで自分を追い込んでいた気がします。心が折れそうなときは、どうせ3年間過ごすなら行きたい学校に行った方がいいに決まっている!と自分に言い聞かせていました。みなさんもいずれ踏ん張りどころがきます。苦しいことを乗り越えるとその先にあるのは楽しく、充実した3年間です。頑張るみなさんを今後も全力で応援します! みんなで一緒に乗り切っていこう!

### 拝啓十五の君へ その3

3年3組担任 大谷津 尚子

私が通っていた中学校は、とてもどこかで田んぼに囲まれた学校でした。家から学校の屋根が見える距離で、毎日田んぼ道を自転車で走って登校したのを覚えています。中学時代は、英語は好きでしたが、数学がとにかく苦手で、受験でも他の教科でカバーしなきゃ、と苦戦する教科でした。受験勉強の仕方としては、5教科とにかく“整理と対策”を何度も解きました。やった日付をそのページの上に書き、間違えた問題には必ず印を付けました。社会はなかなか覚えられなかったのも、多くて5回くらいやったページもありました。問題集に色々書き込むことで、それまで何回取り組んだか、自分でどれだけ努力したかが目に見えるため、とても効果的でした。また、何度もそのページを目にするため、「あのページのここにあった問題だ!」と、記憶にも残っていきました。

志望校選択の際は、2校で迷っていましたが、担任の先生の後押しで最終決定をしました。最後は自分で決めるものですが、自分一人で決めるのではなく、先生や親のアドバイスをもらうことも大切だと私は思います。

3年生へのエールとしては、とにかくがむしゃらに頑張ってもらいたい、ということです。大人になって、「あの時は必死で勉強したな」と思えるよう、本気で勉強と自分と向きあってほしいと思います。受験に向けてのプレッシャーや焦りもあると思います。そんな時は、不安な気持ちをぜひ言葉にしてください。友達、先生、親、だれでもいいです。話すことで前に進むことができます。みなさんの努力がきちんと実を結ぶことを祈りつつ、私は卒業まで全力でサポートをしたいと思っています!

### 拝啓十五の君へ その4

3年6組担任 平野 修人

私の大学入試の体験について語ります。

私は行きたい大学に合格するにはセンター試験(5教科900点満点)で7割程度、二次試験(数学のみ300点満点)でも7割程度必要でした。部活動を引退して初めてのセンター試験を意識させた模試では100点以上点数が足りない状況でした。二次試験はずっと得意教科だった数学のみだったので、点数の足りない他の教科を中心に勉強していました。必死で勉強し、センター試験では7割を超える過去最高点を取ることができました。そこから約1ヵ月後の二次試験に向けて数学だけの勉強を始めました。

自由登校の時期でしたが毎日学校に行き、数学の問題を解いていました。二次試験当日、万全な状態で試験を受け、自分の手応えでは8割ぐらい解けた感触でした。家に帰って自己採点してみると、衝撃でした。図形の問題で三角形の面積を求める問題で $\frac{1}{2}$ をかけ忘れていたのです。その結果、大問を1つ全て間違えていました。もちろん不合格。1年間浪人し、次の年で合格しました。

センター試験を終了後、友人・先生からは「得意な数学だけだし、平野はもう合格したようなもの」だと言われ、自分自身どこかに甘えがあったのかもしれない。浪人して1年間ずれたことで新しい発見や色々な出会いがあったので結果的に浪人したことも私の人生において悪くはなかったのかと思っています。しかし、当時の私はとても悔しい思いをしました。みなさんには同じような経験をしてほしくありません。日頃の勉強で起こる小さなミスを軽くとらえずに真剣に向き合うこと、試験の中で解いた問題を見直すことなど油断をしないでください。

今は人生の中でも苦しい時期だと思います。でも、がんばった分だけ楽しい未来が待っています。先生はみなさんのことをいつでも応援しています。自分の未来のためにがんばろう!

### 進路に関する行事予定

7月～8月 県立・私立高校一日体験学習(保護者も参加可) 県立高校は3年の進路クラスルームに載せてあります。1・2年生は該当校のHPをご覧ください。

7月21日～8月4日三者懇談

9月29日(金)私立高説明会

9月中旬 第一回進路希望調査

※進路希望調査については正式な文書が届き次第連絡します。

11月18日(土)県立高説明会

11月下旬 第二回進路調査

12月上旬 私立高校第一回入試出願 1月上旬入試 1月中旬 私立高校第二回入試出願 2月上旬入試

3月6日(水)7日(木)県立入試 12日(火)合格発表